

2010 年 11 月号

OMSA 会報 大阪

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

News Report

OMSA

▼ TABLE OF CONTENTS ▼

	第 106 回 理事会.....	2
	平成 22 年度 上期事業報告.....	3
	平成 22 年度 前期技能検定.....	5
	平成 22 年度下期事業経過.....	6
	平成 22 年度下期事業計画.....	7
	忘 年 会 開 催 案 内.....	8
	第 2 回 安全・環境シンポジウム.....	9
	金属プレス加工技術研究会.....	11
	行政ニュース・近畿経済産業局.....	13
	パート社員の税金講座.....	14

社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

第106回 理事会

開催日 10月22日(金) 16:20~17:05

会場 たかつガーデン 2階「鈴蘭」

出席者 **理事**

夏山享啓 宮永憲一 新川弘一郎 佐藤 進 中辻 康
朝田政男 河合邦晃 難波勝利 藤田格平 山口登志夫
横幕武夫 島田真輔(島田恒幸代理) 三崎文雄(斎藤弘代理)

監事 宇良 浩

顧問 西山奈津子

事務局 池田昭次郎 西野美恵子

議 事 ①平成22年度上期事業報告及び収支報告
②平成22年度会員異動状況【下記参照】
③平成22年度下期事業計画(実行計画)



会員異動状況

	3/31	入 会	退 会	10/22現在
正 会 員	99	1	4	96
賛助会員	20	0	0	20
特別会員	1	0	0	1
合 計	120	1	4	117

入 会 (正会員) 旭鋼板(株)

退 会 (正会員) (株)東洋プレス工業所 (株)神鉄鋼業
(株)河合製作所 南鉄鋼産業(株)

平成22年度上期 事業報告

1. 総務委員会(総務・交流)

事業名	日時・場所	議事・内容	出席者
第1回正副会長・委員長会議	4月8日(木) 工業会事務所	議事1 平成21年度事業報告及び収支決算見込み 議事2 平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)	9名
第105回理事会	4月20日(火) たかつガーデン	議事1 平成21年度事業報告及び収支決算 議事2 平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)	19名
第34回通常総会	5月20日(木) たかつガーデン	議事1 平成21年度事業報告及び収支決算 議事2 平成22年度事業計画(案)及び収支予算(案)	45名
同上 懇親会	5月20日(木) たかつガーデン	会員:47名 来賓:8名(代表挨拶:近畿経済産業局・大阪府)	55名
プレス会報6月号	6月7日(月)	■第34回通常総会 ■7・8月の行事予定 ■平成22年度事業計画指針 ■平成22年度行事予定 ■平成22年度収支予算 ■セミナー案内	140部
第1回総務委員会	7月1日(木) 工業会事務所	議事1 会員異動状況について 議事2 平成22年度活動推進について	8名
プレス会報8月号	8月10日(火)	■産業構造ビジョン2010 ■素形材産業ビジョン追補版(概要) ■事業報告 ■見学会案内 ■熱中症の予防 ■夏休み子供環境教室	140部
経営者懇話会	8月24日(火) たかつガーデン	(株)旭鋼鉄、(有)板原金属、伊吹産業(株)、(株)エスケイケイ カネエム工業(株)、国産部品工業(株)、(株)ゼロム、(株)大喜金属製作所 (株)津村製作所、(株)ハヤシ、藤田金属(株)	13名

2. 経営委員会(経営・労務)

事業名	日時・場所	議事・内容	出席者
金属プレス経営セミナー	6月18日(金) 御堂筋MIDビル	①「ものづくりを越えて」 経済産業省素形材産業室:都築室長 ②「わが社の技術戦略」(株)阪口製作所:阪口社長 ③「アジアに活路を見出す」(株)村元工作所:村元取締役	31名
第1回経営・労務研究会	7月6日(火) たかつガーデン	テーマ:企業経営に活かす人材育成の手法 講師:宮川弘之氏(特定社会保険労務士)	10名
第1回経営委員会	7月6日(火) 工業会事務所	議事1 平成22年度活動推進について 議事2 見学先及び新春特別講演会講師の選任について	6名
モデル企業見学会	9月13日(月) 滋賀県信楽町	■(株)タカコ 滋賀工場 ■信楽焼陶芸体験	20名

3. 安全・技術委員会

事業名	日時・場所	議 事・内 容	出席者
金属プレス加工技術展 INTERMOLD 2010(金型展)	4月14日～17日 インテックス大阪	(社)日本金属プレス工業協会主催 大阪出展企業:(株)カサタニ、(株)ゼロム、(株)寺方工作所、不二精工(株)	4,013人 (40,283人)
平成21年度労働災害調査	5月31日(月)	回答率:54%(昨年49%、一昨年48%) 休業1日以上災害発生件数:1件(昨年13件、一昨年11件)	52社
第1回技能検定委員会議	6月7日(月) 工業会事務所	◆前期技能検定「金属プレス加工」実施要領について ◆試験前説明要領の統一	9名
第1回安全・技術委員会	7月5日(月) 工業会事務所	議事1 平成21年度労働災害調査結果報告 議事2 平成22年度活動推進について	8名
金属プレス技能向上セミナー	7月12日(月) 新阪急ビル	テーマ:もう一度基礎から学ぶ金属プレス加工と金型 講 師:小渡邦昭氏(高度職業能力開発促進センター教授)	50名
ISO旬報発行		プレス会報8月号掲載 ◆夏休み子供環境教室	140部
技能検定 「プレス加工」学科講習	8月7日・8日 たかつガーデン	受講:1級12名、2級31名 講師:北山信雄氏(パナソニックOB)	43名
技能検定 「プレス加工」実技講習	9月2日～5日 府立南大阪専門校	受講:1級=12名、2級=32名 講師:部内20名	44名
技能検定 「プレス加工」実技試験	9月6日～9日 府立南大阪専門校	受検:1級=16名、2級=48名 昨年:1級=33名、2級=35名	64名 (68名)

4. 青年部会

事業名	日時・場所	議 事・内 容	出席者
4月例会(総会)	4月27日(月) たかつガーデン	議案1 平成21年度事業報告及び収支決算報告 議事2 平成22年度事業計画及び収支予算 議事3 平成22年度役員選任及び役割分担 会長:宮本 保 副会長兼総務幹事:佐々木徹也	11名
5月例会	5月20日(木) たかつガーデン	親会、第34回通常総会	12名
6月例会	6月24日(木) たかつガーデン	議事1 上期計画推進について(実行計画) 議事2 情報交換会	8名
7月例会	7月23日(金) 松下IMPビル	OB・現役合同交流会	17名
8月例会	8月31日(火) 工業会事務所	議事1 3地区合同交流会の企画について	7名
9月例会	10月2日(土)	◆神戸海洋博物館 ■カワサキワールド ◆神戸コンチェルトディナークルーズ(8家族)	23名

平成 22 年度 前期技能検定 「金属プレス加工」実技試験終わる

(社)大阪金属プレス工業会では、平成22年度前期技能検定「金属プレス加工」職種の実技試験を、大阪府より委嘱を受けて実施した。

試験会場は、大阪府立南大阪高等職業技術専門校人材開発センター(和泉市テクノステージ)で行った。

試験日 平成22年9月6日(月)～9日(木)
会場 大阪府立南大阪高等職業技術専門校

本年は、1級33名、2級35名の計68名が受検、
昨年(88名)を下回った。

本試験に先立ち、技能検定補佐員の方々の指導により、
9月2日(木)～5日(日)の4日間、同会場において
準備講習会を実施、44名が受講した。

合格発表 平成21年10月1日(金)
場所 大阪府職業能力開発協会



上記試験の合格発表が、10月1日(金)にあり、1級15名・2級32名の方が技能士(実技・学科共合格)になりました。誠にありがとうございます。より一層のご研鑽をご期待申し上げます。

技能士には、労働安全衛生法等関係法令により年1回の定期点検が義務付けられている、動力プレス機械
特定自主検査に係わる事業内検査者の資格が、厚生労働省の通達により自動的に付与されます。

尚、合格者には12月初旬に、1級は厚生労働大臣、2級は大阪府知事よりそれぞれ合格証が交付されます。

本会からの技能士合格者は次のとおりです。(敬称略)

1 級 (4 名)	管野 宏志 (朝田金属工業㈱) 米原 史雄 (㈱カサタニ)	石川 武士 (朝田金属工業㈱) 中村 達也 (㈱銭屋アルミニウム製作所)
2 級 (1 6 名)	橋本 昌幸 (飯田金属工業㈱) 中野 龍二 (飯田金属工業㈱) 松下 徹 (丹南佐々木工業㈱) ニ原 浩憲 (プレテック㈱) 村上 浩敏 (㈱カサタニ) 平山 浩和 (㈱エスケイケイ) 小西 悠太 (㈱エスケイケイ) 荒地 龍 (㈱銭屋アルミニウム製作所)	川西 健之 (飯田金属工業㈱) 上田 篤史 (飯田金属工業㈱) 増川 修一 (夏山金属工業㈱) 澤尾 賢志 (プレテック㈱) 中川 雅史 (㈱カサタニ) 有山 貴紀 (㈱エスケイケイ) 溝口 浩 (国産部品工業㈱) 前島 輝也 (㈱銭屋アルミニウム製作所)

平成 22 年度下期事業報告

平成 22 年 10 月～11 月

- ◆ 10 月 2 日(土) 青年部家族例会 」
神戸海洋博物館・カワサキワールド 23 名



- ◆ 10 月 13 日(水) 部外見学会派遣
神戸衡機(株)・(株)堀場製作所 6 名



- ◆ 10 月 20 日(水) 進企業見学会
(株)ヒロテック防府工場 13 名



- ◆ 10 月 22 日(金) 第 2 回正副会長会 6 名
- ◆ 10 月 22 日(金) 第 106 回理事会 18 名



- ◆ 10 月 22 日(金) 役員懇親会 17 名
- ◆ 10 月 29 日(金)・30 日(土)
青年部 3 地区合同交流会 18 名



- ◆ 10 月 31 日(日) 第 12 回健康ハイキング
西ノ京～平城京 39 名



- ◆ 11 月 2 日(火) 第 2 回技能検定委員連絡会議 9 名

平成 22 年度下期事業活動計画

平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月（確定分）

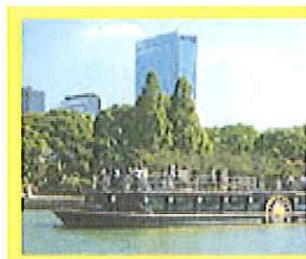
- ◆ 11 月 25 日（木） 第 2 回プレス安全・環境シンポジウム
会 場：名城大学 名駅サテライト「MSAT」
時 間：13:00～17:00
テーマ：安全・環境対策と社会的責任
- ◆ 12 月 3 日（金） 金属プレス加工技術研究会
会 場：東京・機械振興会館
内 容：高張力鋼板の絞り成形
- ◆ 12 月 9 日（木） 忘年会
場 所：帝国ホテル・チャータークルーズ
時 間：18:45 集合、19:00 乗船
- ◆ 1 月 19 日（水） 新春特別講演会
場 所：たかつガーデン 3 階「カトレア」
時 間：15:30～17:00
講 師：梶原浩一氏（認定事業再生士）
- ◆ 1 月 19 日（水） 新年賀詞交歓会プレス
場 所：たかつガーデン 8 階「たかつ東中」
時 間：17:30～19:30
- ◆ 3 月 9 日（水）・10 日（木） プレス安全技能講習会支援事業
場 所：エル・おおさか
時 間：9:00～19:20（2 日目は 17:30）
内 容：プレス機械作業主任者
主 催：（社）大阪労働基準連合会（06-6353-7401）
申 込：12 月 10 日から、直接主催者に申込みください。
補 助：当会会員には工業会が半額補助（受講票が必要）
- ◆ 2 月 15 日（火） 第 2 回経営・労務研究会
場 所：たかつガーデン
時 間：14:30～17:00
講 師：宮川弘之氏（特定社会保険労務士）
- ◆ 3 月 13 日（日） 第 6 回地引き網&BQ 大会
場 所：泉南市・岡田浦漁港
時 間：10:00～14:00

忘年会開催のご案内

敬 具

記

◆JR 大阪駅西側高架下からシャトルバス約 10 分（10 分間隔）



◇ 参加費 10,000円／人 〈振込先〉 三菱東京UFJ銀行 上本町支店
(社)大阪金属プレス工業会
口座番号 普通 0487575

FAX 06-6762-7633 Mail omsa1@omsa.or.jp

12/9 忘年会参加申込書

企業名		
参加者	役職名	氏 名
お支払い方法	☐ 当日払い	☐ 振 込(月 日予定)

第2回安全・環境シンポジウム

「安全・環境対策と社会的責任」

安全・環境対策は関係者の地道な努力により一定の水準に達してきましたが、新しい課題も出てくるなど一層の対策が検討される状況にあります。そうした状況の中、従来は企業内の問題として捉えられてきた安全・環境対策も、ここ数年は企業の社会的責任(CSR)と関係付けて議論されることが多くなり、「従業員・消費者・取引先・地域社会等を含む利害関係者」との関係で論じられるといった、新たな局面を迎えつつあります。本年は、現状の安全・環境対策と社会的責任について討論することにより、CSRの理解を助け、将来の安全・環境対策の方向性を探る参考となるようなシンポジウムを企画いたしました。是非とも皆様にご参加いただきたくよろしくお願いいたします。

主催 社団法人日本金属プレス工業協会

協賛 社団法人愛知県金属プレス工業会

社団法人日本金型工業会 中部支部

日本プレス安全装置工業会

【開催日】平成22年11月25日(木) 13:00～17:00

受付開始 午後12:15～

【会 場】名城大学 名駅サテライト「MSAT」多目的室

名古屋市中村区名駅3-26-8 SIAビル13階(裏面地図参照願います)

MSAT 事務室 電話番号 052-551-1666

プログラム

開会の辞	13:00 ～ 13:05
□事例紹介	13:05 ～ 14:15
1 『わが社の安全対策事例』	株式会社野島製作所
2 『労働安全リスクアセスメント事例』	ミヤマ精工株式会社
3 『プレス企業の環境対策への取り組み』	株式会社ゼロム
休憩	14:15 ～ 14:30
□講演 「安全・環境とCSRについて」	14:30 ～ 15:30
～CSRの概要説明から始め、労働安全・環境の課題および社会的責任へのアプローチを説明することにより、それらの関係を明らかにする。～	
日本CSR協会 代表理事／株式会社イー・キュー・マネジメント技研 代表取締役社長 前田 浩氏	
休憩	15:30 ～ 15:35
□パネルディスカッション	15:35 ～ 16:55
テーマ 「これからの安全・環境対策および企業のありかたとは」	
～現状の安全・環境対策およびCSRの意義を確認することにより、今後の企業のあるべき姿を考える。～	
司 会	名城大学 理工学部 機械システム工学科 教授 福田 康明氏
パネリスト	石橋工業株式会社 常務取締役 岩崎 清二氏
	株式会社木下工業 代表取締役社長 木下 智之氏
	講演者・事例発表者
閉会の辞	16:55 ～ 17:00

参加要領

◆ 定 員 90名

◆ 申込方法

平成22年11月19日(金)までに、下記の参加申込書
に必要事項をご記入の上ファックスにてお申込み下さい。
なお、本協会ホームページからもお申込みができます。
※受付完了後、メールまたはFAXにて参加証を発行い
たします。

◆ 参加費

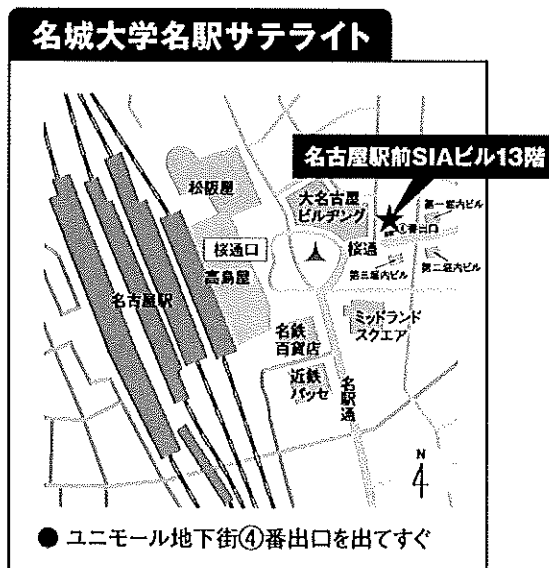
本協会会員 7,000円(資料代含む)
会 員 外 12,000円(資料代含む)
※参加費は 平成22年11月19日(金)までに下記の
口座にお振込お願いいたします。
なお、お振込み料はご負担お願いいたします。

(お 振 込 先)

みずほ銀行 新橋支店 (普通口座) 2458843
口座名) 社団法人日本金属プレス工業協会 安全大会口

※当日の参加費のご持参については、十分な対応が困難なため、お断りしております。
 ※当日キャンセルされた場合は、ご入金いただきました参加費は返金いたしませんので
 予めご了承お願いいたします。

◆ お問合先 社団法人日本金属プレス工業協会 (担当: 中川)
TEL: 03-3433-3730 FAX: 03-3433-7505



FAX: 03-3433-7505 (社)日本金属プレス工業協会宛

第2回安全・環境シンポジウム参加申込書

※御社名	※お名前
※部署名	お役職
※所在地 〒	
※TEL	FAX
メールアドレス	

※ご記入必須でお願いいたします。

第83回金属プレス加工技術研究会
「高張力鋼板の絞り成形」

主 催 社団法人日本金属プレス工業協会
協 賛 社団法人東京都金属プレス工業会
社団法人日本金型工業会

自動車の燃費向上を目的として自動車の軽量化が望まれており、高張力鋼板の自動車部品への利用が急増している。高張力鋼板は延性が低いため、ひずみの小さい曲げ加工によって主に成形されているが、最近延性の向上した板材が開発されるようになってきて、絞り成形の適用されるようになってきた。本研究会では、高張力鋼板の絞り成形において、板材、金型、潤滑、加工方法に関して現状を紹介していただき、今後の進展を議論していただく。

【開催日】 平成22年12月 3日(金) 13:00~17:00
【会場】 機械振興会館 地下3階 研修1
東京都港区芝公園3-5-8 TEL (03) 3433-3730 (協会直通)
※ 会場の都合上、受付開始は12:30からとさせていただきます

【総合司会】 豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 森 謙一郎 氏
【プログラム】

開会の辞-----13:00~13:05

1 サーボプレスを用いた高張力鋼板の絞り成形 -----13:05~13:45

弊社汎用サーボモータ駆動プレス「アイダダイレクトサーボフォーマ; NC1-1100(D)」を用いて、980MPa級高張力鋼板の深絞り成形の可能性について加工実験を実施し、通常鋼板(JIS SPCE材)との差異及び高張力鋼板特有の加工条件について調査したので報告する。

アイダエンジニアリング株式会社 開発本部 成形技術センター センター長 菅沼 俊治 氏

2 高張力鋼板の成形不良、寸法精度不良対策技術 -----13:45~14:25

ラボレベルの小型試験金型、実部品級の大型試験金型を用いて検討した、高張力鋼板の絞り成形不良対策技術について紹介する。その他、弊社開発の高加工性ハイテンの伸び特性向上による成形不良回避例や、絞り成形に限らず、寸法精度不良対策技術についても紹介する。

株式会社神戸製鋼所 プロセス技術開発部 ソリューション開発室 研究員 木村 高行 氏

3 高張力鋼板の絞り成形・曲げ成形における表面処理 -----14:25~15:05

冷間プレス金型の寿命要因として、金型へ被加工材が焼付くことによるかじりが挙げられる。このかじりに対する表面処理の影響について、曲げ成形および絞り成形にて評価を行った結果について報告する。

大同特殊鋼株式会社 研究開発本部 特殊鋼研究所 金型材料技術研究室 増田 哲也 氏

休憩-----15:05~15:15

4 高張力鋼板の成形加工における潤滑 -----15:15~15:55

高強度な高張力鋼板ほど、成形力の増大やr値の減少により成形性が低下する。成形性確保のため高粘度油を適用することが多いが、高粘度油はr値の減少と相乗してフランジシワの発生による成形エリアを狭めることや後工程での洗浄負荷を増大させることになる。高張力鋼板に適した潤滑の考え方や事例を報告する。

日本工作油株式会社 取締役技術部長 木村 茂樹 氏

5 高張力鋼板の温・熱間スプライン成形 -----15:55~16:35

トランスミッションなどの歯形ドラムは、板材を絞って円筒容器に成形した後、しごき加工によって側壁をスプライン成形して歯形部品が製造されている。歯形ドラムも高張力鋼板を適用して軽量化を図ることが望まれているが、スプライン成形ではきびしい変形を加えるため、高張力鋼板を適用することは困難である。そこで、高張力鋼容器を通電加熱して軟化させる温・熱間スプライン成形法を紹介する。

豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 森 謙一郎 氏

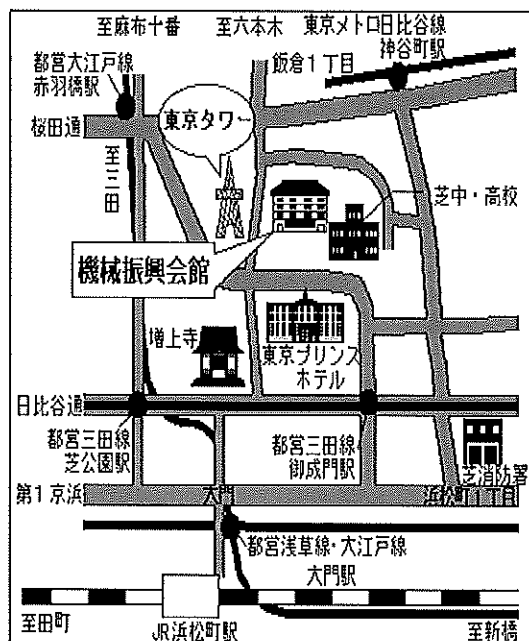
総合討論-----16:35~17:00

11 総合司会 森 謙一郎 氏、講師全員

参 加 要 領

- ◆ 定 員 100名
- ◆ 参加費 本協会会員 7,000円（テキスト代含む）
大阪会員 無 料
会 員 外 12,000円（テキスト代含む）
- ◆ 申込方法
下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックスにてお申し込みください。なお、本協会ホームページからでもお申し込みができます。→ <http://www.nikkin.or.jp>
* 受付完了後、メールまたはファックスにて「参加証」の送付をさせていただきます。
- ◆ 参加費のお支払い方法
平成22年12月1日(水)までに下記の銀行口座にお振込くださいますようお願いいたします。お振込み料はご負担下さいますようお願い申し上げます。
(お 振 込 先)
みずほ銀行 新橋支店 (普通口座) 1746965
口座名) 社団法人日本金属プレス工業協会
- * 当日の参加費のご持参については、十分な対応が困難なため、お断りしております。
- ◆ キャンセル
当日にキャンセルされた場合は、ご入金いただきました参加費はご返金いたしませんので予めご了承ください。
- ◆ 締め切り
平成22年12月1日(水) (定員に達し次第締め切らせていただきますので、お早目にお申し込みください。)
- ◆ 参加申込みのお問い合わせ
TEL: 03-3433-3730 FAX: 03-3433-7505 社団法人日本金属プレス工業協会

機械振興会館案内図



営団地下鉄日比谷線神谷町駅下車徒歩6分
都営三田線御成門駅下車徒歩7分、
都営大江戸線赤羽橋駅下車徒歩7分、
都営浅草線・都営大江戸線大門駅下車徒歩9分、

社団法人日本金属プレス工業協会 宛
FAX: 03-3433-7505

第83回金属プレス加工技術研究会参加申込書

御社名		連絡ご担当者お名前	
所在地 〒			
TEL		FAX	
受付番号	お 名 前	部署・お役職名 e-mail	
振込み予定日	本申込書→FAX (社) 大阪金属プレス工業会 (社) 大阪金属プレス工業会から振込みます。		

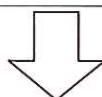
年末対策に「ワンストップ・サービスデー」を利用ください！

- 年末の資金繰りから海外展開、雇用調整助成金の相談まで一ヶ所に対応します！
- 是非、お近くの開催会場にお越してください。

相談無料

お問い合わせ先 近畿経済産業局 産業部中小企業課
TEL06-6966-6024(直)

開催県	開催日	開催場所	住 所
大阪	11月22日(月)	大阪商工会議所	大阪府中央区本町橋2-8
兵庫	11月30日(火)	ひょうご産業活性化センター	神戸府中央区雲井通5-3-1
京都	11月24日(水)	京都商工会議所	京都市中京区烏丸通夷川上ル
奈良	11月24日(水)	奈良県文化会館	奈良市登大路町6-2
和歌山	11月15日(月)	和歌山商工会議所	和歌山市西汀丁36



様々なご相談に応じます

- 年末の運転資金を借りたい！ 融資の条件変更ができないか？
- 新製品を開発するための支援制度を教えて欲しい！
- 知的財産をうまく活用したい！
- 海外展開について知りたい！

パート社員の税金と扶養家族の範囲は？

年末が近づくと、パート社員から年間収入の見込金額などについて聞かれることが多くなるのではないのでしょうか。パートで働く主婦にとって気がかりなことは、自分が夫の扶養家族になるのか、ならないのかということです。

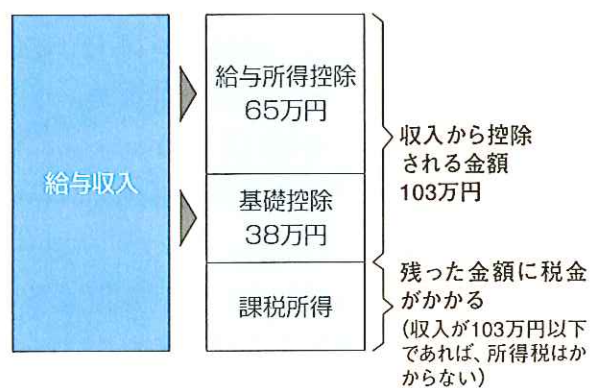
年収がいくらなら 税金はかからないのか？

パートで働く主婦にとって、まず気になるのは、自分の収入がいくらまでなら税金（所得税・住民税）がかからないのか、税金や社会保険の扶養家族の枠内におさまるのか、ということでしょう。

(1) 年収103万円以下なら所得税がかからない

通常、パートの年収が103万円以下でほかに収入がなければ、所得税はかかりません。

所得税の場合、給与収入から、給与所得控除65万円と基礎控除38万円との合計103万円が差し引かれ、残った金額に税金がかかるため、103万円が1つの目安になります。



(2) 年収103万円以下でも住民税がかかる場合がある

住民税は、年収100万円（給与所得控除65万円＋住民税の非課税限度額）のラインが一つのポイントになります。

パートの年収が100万円以下でほかに収入がなければ、住民税はかかりません。ただし、

市区町村によっては、100万円以下であっても、住民税がかかる場合があります。

そもそも住民税には、所得の額にかかわらず、均等の額を負担する均等割と、所得金額に対して課税される所得割があります。

所得割については、年収100万円以下であれば、住民税はかかりませんが、均等割については、市区町村によっては、年収が93万円を超えるとかかる場合があります。

住民税の標準税率は、所得割が10%（都道府県民税4%、市町村民税6%）、均等割（年額）が4,000円（道府県民税1,000円、市町村民税3,000円）です（一部自治体で税率が異なります）。

※課税の対象となる年収の期間は、所得税がその年、住民税が前年となります。

夫の扶養家族の枠内におさまる収入はいくらか

パートで働く主婦にとって、ご主人の扶養家族の枠内かどうかは、気になることです。

(1) パート収入が103万円を超えると夫が配偶者控除を受けられない

妻のパート収入が103万円以下であれば、夫は自身の所得から38万円の配偶者控除を受けることができます。

また、妻のパート収入が103万円を超えると配偶者控除を受けることができなくなりますが、パート収入が141万円未満で、夫の所得が一定以下であれば、夫は自身の所得から、配偶者特別控除を受けることができます。

表1 パート収入と夫が受ける配偶者控除と配偶者特別控除

配偶者のパート収入		配偶者控除	配偶者特別控除
103万円以下		38万円	—
103万円超	105万円未満	—	38万円
105万円以上	110万円未満	—	36万円
110万円以上	115万円未満	—	31万円
115万円以上	120万円未満	—	26万円
120万円以上	125万円未満	—	21万円
125万円以上	130万円未満	—	16万円
130万円以上	135万円未満	—	11万円
135万円以上	140万円未満	—	6万円
140万円以上	141万円未満	—	3万円
141万円以上		—	—

(2) パート収入130万円以上で社会保険の扶養家族からはずれる

パートで働く主婦の年収が130万円以上になると、夫の社会保険の扶養家族（被扶養者）からはずれてしまいます。この場合、国民健康保険や国民年金の第1号被保険者に加入しなければならないため、保険料の負担が発生してしまいます。

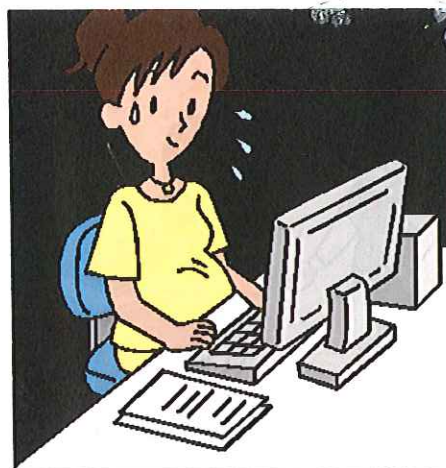
収入と税金、社会保険の扶養家族の関係は表2のとおりになります。

表2 パートの収入と税金、社会保険の扶養家族の関係

	パート本人の税金		夫の配偶者控除の適用		夫の社会保険の扶養家族の適用
	所得税	住民税	配偶者控除	配偶者特別控除	
100万円以下	非課税	非課税 ^(注1)	有	無	○
100万円超 103万円以下	非課税	課税	有	無	○
103万円超 130万円未満	課税	課税	無	有	○
130万円以上 141万円未満	課税	課税	無	有	× ^(注2)
141万円以上	課税	課税	無	無	× ^(注2)

(注1) 市町村によっては住民税（均等割）が課税されます。

(注2) 所定労働時間によっては、収入に関係なく社会保険に加入しなければなりません。



パート社員への説明のポイント

- ☐ ① 本人に税金がかかる年収のラインと、今年の年収見込額を伝えたか。
- ☐ ② 本人の年収によって、ご主人が配偶者控除を受けるか、配偶者特別控除を受けるかが決まることを伝えたか。
- ☐ ③ 扶養家族の枠内におさめるために、出勤方法や収入についてパート社員と調整をしたか。
- ☐ ④ ご主人が勤務先に提出する「扶養控除等（異動）申告書」において、自分や子供を扶養家族にしている場合、パート本人の扶養控除等申告書では、「扶養家族無し」と記載されているか。



今月のワンポイント実務……… 税務

収入と所得はどう違う？

正社員やパート社員などの「収入」と「所得」について、よく混同しがちです。

- 収入… 給与が収入（給与収入）となります。ただし、その金額は所得税の源泉徴収や社会保険料等を差し引く前の額であって、手取額ではありません。また、通勤交通費（1か月10万円まで）は収入には含みません。
- 所得… 収入から、必要経費にあたる「給与所得控除」を差し引いた額が給与所得になります。税法では、サラリーマンの必要経費について、「給与所得控除」として収入に応じた必要経費を定めています（年収162万5千円までの場合、65万円）。この給与所得から、さらに基礎控除（38万円）や医療費控除などの各種控除が差し引かれ、課税所得になります。この課税所得が、税金のかかる金額です。

課税所得＝収入－給与所得控除－基礎控除など



社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

mail:omsa1@omsa.or.jp